

第25号

平成22年2月4日発行



議会だより

# ふじかわぐちこ

町に活力! 生活に安心を!  
こども医療費無料化実現!!



- ◆12月定例議会 2P~3P
- ◆ここが聞きたい だいひょう・いっぱん質問 4P~9P
- ◆委員会報告 10P~12P
- ◆10・11月臨時議会 13P
- ◆窓・編集後記 14P

12月定例議会

全員賛成

中学3年生まで、

医療費無料化実現!!

西浜小・中学校  
体育館建設工事に  
2億5,773万円

歌手の「いしか」さん  
特別町民に推戴



全員賛成

### 平成 21 年 12 月定例議会

(12月14日から21日)

提出された案件は一般会計および特別会計補正予算が14件、条例の一部改正が5件、同意案件が4件で、補正予算は各常任委員会に付託、慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決して閉会した。

14日に会派親樹会による代表質問、15日の一般質問には4人の議員が立ち、22年度予算編成や福祉、医療、介護、環境、教育、道路など町政の課題について幅広く質問し、町の考えをたじた。

#### ◆補正予算

##### 一般会計補正予算

(第6号・第7号)

2億9875万円を増額し、予算総額は118億8996万円。

**【歳入】** 不況による法人町民税1億3910円の減や普通交付税の1億1275万円の増、学校施設建設事業として合併特別債1億5640万円の増など

**【歳出】** 船津公園墓地の給水ポンプの修繕に80万円、小立住民センタードアの修繕に44万円介護給付・訓練や生活支援事業に3157万円、

老人ホーム入所助成金として200万円、ひとり親家庭等医療費助成金に150万円、河口野菜出荷組合の冷蔵庫の補助に354万円、富士ヶ嶺バイオセンター収支補填に132万円、有害鳥獣駆除に89万円、いやしの里駐車場借り上げに345万円、路面凍結防止用塩カリ購入に292万円、西浜小中学校屋内運動場建設工事費2億5773万円、西湖南体育館修繕に19万円など

##### 介護保険特別会計

補正予算 (第2号)

8499万円を増額し、予算総額は12億9298万円。国からの調整交付金や介護給付費交付金と前年度繰越金などで、訪問介護のサービスに2413万円、グループホーム入所者のサービスに263万円、特養や老健、介護療養型などの施設介護サービスに5307万円、居宅介護住宅改修に36万円など介護サービス事業の増額

##### 船津財産区特別会計

補正予算 (第1号)

給水用ポンプ修繕への繰り出し金80万円

##### 介護予防支援事業特別

会計補正予算

(第2号)

57万円を増額し、予算総額は1016万円。事業運営の増額

##### 国民健康保険特別会計

補正予算 (第2号)

1000万円を減額し、予算総額は25億5496万円。職員給与の減、高額療養費特別支給金に1万円の増額など

##### 水道事業会計補正予算

(第2号)

河口湖大橋線道路の電線共同溝工事による水道本管切り直し工事に200万円の増

## 大石簡易水道事業

### 補正予算 (第1号)

5万円を増額し、予算総額は3億0466万円。20年度事業確定による繰越金や開発行爲による施設整備のため寄付金183万円などを積み立て、若彦路トンネル湧水配水池の竣工式賄などを補正

## 足和田簡易水道事業

### 特別会計補正予算 (第1号)

821万円を増額し、予算総額は3400万円。平成20年度事業費確定による繰越金の積み立て

## 上九一色簡易水道事業

### 特別会計補正予算 (第1号)

2105万円を増額し、予算総額は2億3613万円。平成20年度事業費確定による繰越金の積み立て



▶配水池視察

## 河口簡易水道事業

### 補正予算 (第2号)

2617万円を増額し、予算総額は1億0232万円。平成20年度事業費確定による繰越金の積み立て

## 温泉事業特別会計

### 補正予算 (第1号)

386万円を増額し、予算総額は5131万円。平成20年度事業費確定による繰越金の積み立て

## 下水道事業特別会計

### 補正予算 (第3号)

公共下水道債や流域下水道債を低利率に借り換え

### ◇町道の路線認定

小立区画整理事業区域内の都市計画道路『白木里宮線』の延伸道路として新設される道路の認定

全会一致で可決

### ◇条例の一部改正

- ・乳幼児医療費助成条例を全部改正し、子ども医療費助成条例をつくる  
対象年齢を中学3年生まで引き上げ
- ・重度心身障害者医療費助成条例  
高額介護合算療養費の支給に伴う改正
- ・介護保険条例  
政令の改正により、延滞金の軽減に伴う改正
- ・後期高齢者医療に関する条例  
政令の改正により、延滞金の軽減に伴う改正

全会一致で可決

### ◇同意案件

全会一致で同意しました。

#### ▼教育委員の任命同意

勝山 八色 正代 氏  
本栖 伊藤 正一 氏

#### ▼固定資産評価審査委員の 選任同意

小立 渡辺陽太郎 氏  
勝山 小林 史亨 氏  
西湖西 渡辺 秀樹 氏

#### ▼小立財産区管理委員の 選任同意

小立 渡辺 俊康 氏  
小立 古屋 和彦 氏  
小立 相沢 主彦 氏

#### ▼河口湖治水委員会委員の 選任同意

浅川 外川 誠 氏  
小立 外川 洋司 氏  
大石 梶原 宗行 氏  
大石 梶原 啓一 氏  
河口 駒井 俊策 氏  
勝山 流石 純 氏  
長浜 三浦征治朗 氏  
長浜 三浦 甫夫 氏



# イベントの見直ごと 生活道路整備計画は

会派「親樹会」は、十月町議改選により、高山泰治を代表として五名で新たに結成しました。

厳しい町財政状況下、今定例会で、子育て支援にもつながら「中学三年生までの医療費窓口無料化」の条例が全会一致で可決されました。

渡辺凱保町政も就任三年目を向かえ、凱保カラーを出した住民目線の町づくりの取り組みに期待します。

**質問** 平成二十二年度予算編成の基本方針と、政権交代による国家施策の町への影響は

**答弁** 総務課長 法人

町民税・個人町民税とも前年度を大きく下回ることが確実に、歳入全般に渡って厳しさが増すことが予想される。

住民サービスを確保しつつ、事務事業の合理化や、事業の執行にあたっては、国庫補助制度等を有効に活用して、重点施策、優先すべき事業を見極め予算編成にあたる。

また、町単独の補助金については、その目的・効果を検討し整理合理化を進める。

国の政権交代により制度の変更が実施される予定であり、国・県の動向を見極めながら、町への影響を的確に把握し慎重に予算計上する。

**質問** 「地域密着型介護老人福祉施設」の早期整備と当町の第四期介護保険事業計画の見直しは

**答弁** 町長 第四期で「小規模多機能型の居宅介護施設」が計画されているが、別枠で「地域密着型介護老人福祉施設」を整備する見通しがあり、現在県に第二次協定書を提出したところ。

この施設は小規模（定員二十九人）で、町で整備するのでなく民間から公募する計画である。ただし、整備された場合には、介護保険料が、自然増加分を除いた施設分だけで二百八十円～三百円の増額が見込まれる。



▲ハーブフェスティバル(2009年八木崎会場)

**質問** 各種イベント・事業の見直し(スクラップアンドビルド)と、補助金の繰り出し・繰越金の管理は

**答弁** 観光課長 「ハーブフェスティバル」については、魅力アップ調査を実施し来年度に向けリニューアルを目指している。

コンセプトの明確化、イベント企画の充実、会場設営の改善、地域との連携、運営体制・運営の強化及び大型テナントの見直し等検討している。

「紅葉まつり」は、今年祭り会場を、点から面に広げ、広範囲にお客様に堪能していただき好評を得た。

イベント実行委員会等への補助金は、毎年同額ではなくイベントの内容や事業費及び繰越金等を精査し予算計上している。

**答弁** 文化振興局長 所管のイベントは大半が実行委員会形式で、繰越金については、次回以降の開催に向けての(交渉等)準備金であり、出納室で通帳管理をしている。

**答弁** 町長 観光客のニーズや社会的環境は常に変化している。新たなイベントを起こす必要性や廃止も含めた見直し等「事業仕分け」が必要である。

各地域でのトレイルランやウォーキングまた、

IVVオリンピックアードの記念大会の企画等を検討していく。地域住民の皆様方と一体となって観光資源の発掘に取り組む。富士山世界文化遺産登録を軸として「自然環境型の観光」への取り組みにより着地型・宿泊滞在型の観光を目指していく。

**質問** 西湖いやしの里根場の来年度の管理運営方法は

**答弁** 観光課長 管理運営は地区住民を主体とした運営組織が行う計画である。

西湖地区で検討委員会を立ち上げ、今年度中に方向性を出したい。



▲太陽光発電表示(役場1F)

**質問** 低炭素社会実現に向けての当町独自の施策及び補助金制度の検討は

**答弁** 環境課長 国の温室効果ガス二十五%削減目標に向け、町も太陽光発電システム設置の普及促進のための補助制度（一律五万円）を設けている。

また、エコキュート（高効率給湯器）などの普及が必要と考えている。上九一色地区における風力発電の調査費の予算計上を検討する。

**質問** 日頃の生活に直結する町道整備（基盤整備計画）と、船津―小梅線（合併支援道路）の進捗状況は

**答弁** 建設課長 六月に国から交付された経済対策交付金の中から約一億円町道補修工事に当て、今年度末までに延長約六、五キロの町道整備を行う。

現状では、総延長約二十五キロの補修措置が必要であり、年次計画的に行い、安全な道作りを推進していく。

**答弁** まちづくり管理監 船津―小梅線の総延長は二千三百三十二メートル、全幅員は役場北―小立土地地区画整理事業内が十六メートル、以西が十四、五メートルである。事業期間は平成二十五年年度完成予定として、県と小立土地地区画整理事業組合により事業実施している。全体の進捗率（執行率）は事業費ベースで四十七%である。

平成二十五年年度完成に向け、関係する地権者の御協力をお願い致します。



▲船津 - 小海線 敷設工事

**質問** 小中学校の英語教育の一層の充実と新型インフルエンザ対策は

**答弁** 学校教育課長

今年度より英語教育の助手ALTを一名増員した。

新学習指導要領により平成二十三年から小学校5・6年生の英語教育を年三十五時間実施することになる。今年度から前もって、二十時間以上英語教育を行っている。

新型インフルエンザの感染は、八月二十日町内の小学校で初めて確認され、以降十二月十一日現在で感染が確認された児童と生徒の総数は、六百三十人（三十一・二%）に及ぶ。今定例会で、手洗い用石鹸等の補正予算を計上した。

ワクチン摂取に対する補助は、季節性インフルエンザと選択していただき二千円の助成をする。

**質問** 健康科学大学への当町としての今後の対応は

**答弁** 企画課長 法人の役割、大学の役割、町の役割分担として何をなすべきか、相手の立場、町全体に及ぼす影響等を考えながら多方面から検討している。

## 関連質問



渡辺元春 議員

**質問** 新年度予算編成にあたり町長の考えは

**答弁** 町長 予算編成にあたっては、国の方針を見定め総合的に考えていく、主に「環境」「教育」「福祉」に力を入れていく。

**質問** ハーブフェスティバルのメイン会場である八木崎公園の整備は

**答弁** 副町長 「八木崎公園」は都市公園であり、都市公園を活用したイベント会場である。イベントの見直しと併せ、植栽の手入れ・防犯灯等、公園のあり方について検討していく。



外川正純 議員

**質問** 小立支所付近は道路補修工事してもすぐに亀裂が入る、しっか

りした補修が出来ないか

**答弁** 建設課長 小立支所付近は、今回の補修計画に入っている。表層をめぐって打ち直す方法で考えている。

**質問** 健康科学大学に対する町の支援は

**答弁** 町長 風評被害を避けるため発言を控えていることもあるが、今一番大切なことは、ここで融資が得られるかである。私自身先頭に立って努力する。



三浦康夫 議員

**質問** 小規模多機能型の介護施設を第四期（平成二十三年）までに整備していただきたいが

**答弁** 保険課長 町長の答弁にあつたように、あくまでも第四期の中に別枠で、小規模特養を進めていく。

**質問** 太陽光発電システム設置補助制度の充実

**答弁** 町長 当面は現補助制度で理解をいただきたい。

**質問** エコキュート等皆さんに告知する中で、環境問題に取り組んでいく。

**質問** 町財政の厳しい中どこかを削らなければならぬ。

例えば、町直営の「いやしの里根場」かつやま道の駅や「財団管理の施設等」を指定管理者制度の導入を検討しては

**答弁** 副町長 前回はこのような意見もあり、検討していきたいが、相応の時間がかかる。町がなすべきか、民に任せていいものか検討し、事業仕分けで予算の圧縮削減を考える。

**質問** 町長 いやしの里根場や財団は改善策等を検討中であり、踏み込んでいきたい。

意見 町道補修工事に関しては、エリアが広範囲に渡る為チェックが難しく、各地域の方々（審議会等）に相談の上、推進していただきたい。



高山泰治 議員

## ここが聞きたい! いっぱん質問

再質問

今までも増して、トップセールスのアジア地域への売り込みは

観光課長

人口13億の中国は、現在の景気低迷期にあっても、訪日観光客はふえ続けており、さらに新たな展開を図るべく、積極的に海外のほうにはトップセールスを展開していきたい。

質問

首相は温室効果ガス25%削減をうたい、今後町として独自の環境施策の立案が望まれるが、そのお考えは。

環境課長

庁舎屋上に50キロワット用の太陽光発電システムを設置したことにより、二酸化炭素が年間約25トン削減され、年間100万円ほどの電力が節約することができます。

再質問

花を育てて花の能力が持つCO2削減の運動を展開することも二酸化炭素の削減には大いに役立つので、再度、花いっぱい運動の考えは

環境課長

植物による二酸化炭素の吸収などのメリットが考えられるので、今後についても花トピア推進事業及びまちなみ景観事業を継続していきたいと考えています。

質問

当町の保育所の設置状況は、法令の決められた規定の中にあるのが。また、大規模校での町単での30人学級の設置状況がどのように進んでいるか

福祉推進課長

町の保育所の状況は、施設面積、保育士等の人員配置ともに基準を上回っています。

学校教育課長

小学校は、1・2年生につきましては30人学級を実施。3年、4年学年は少人数学級を実施しています。5・6年生は、算数の授業においては1クラスを2つに分けて、2人の教諭が別々のクラスで授業を実施しています

再質問

学級の規模については、各市町村がその条例をもって決めることができると聞いているが、条例化をする意思があるか

学校教育課長

文科省、県にその内容等を聞き、研究し検討していきます。

質問

国道138号の吉田より山中へ通ずる幹線道路の拡幅状況と富士五湖道路と東名高速道路を結ぶという長年の道路建設の進捗状況は

まちづくり管理監

138号の事業化は、厳しい財政状況なので、今後については何とも言えない。東富士五湖道路と東名高速道路を結ぶ自動車専用道路は、平成22年度予算については、現時点でどうなるかは不明と聞き及んでいます。



質問者

渡辺喜久男 議員

質問

新年度の税収見込みは

自主財源である税収において、たばこ税の増税が挙げられているが町税収に及ぼす影響は。また、町民税、固定資産税等を含めた税収全般の見込みは。

税務課長

個人町民税は、前年度に比べ8.2%の減の9,500万円の減額。法人町民税は、前年に比べ43.1%減の1億1,500万円の減額が見込まれる。固定資産税は前年度とほぼ同額の22億9,000万円が見込まれ、町たばこ税は、前額に比べ21.2%増の3,600万円の増加が見込まれる。

質問

補助金・負担金の一括交付金制度への対応

総務課長

今後、政府の示す一括交付金の制度がどのような形になるのか早い段階で情報をキャッチし、地域に効果的な事業を検討していく。

質問

子供手当・高校授業料無料化による経済効果は

総合窓口課長

子ども手当は、4,220人が対象者数として見込まれ、単純計算では4,220人に1万3,000円が支給、12カ月分ということで6億5,832万円となるので、以降の年度で全額実施となりますと13億2,000万円強が見込まれる。

学校教育課長

高校に通っている全生徒数は837名、給付総額は1億931万8,000円となります

質問

後期高齢者医療制度の廃止に伴う影響は

保険課長

国からの負担金及び交付金の増額がなければ国保会計の継続的、安定的な運営は難しいと考えられます。

質問

観光客誘致対策は

観光庁発足に伴い、国・県との連帯の中で、観光客増員に向けた施策の考え

観光課長

国の予算257億円は対前年比で4.1倍の額です。観光立町である我が町の目指す方向とも一致していることから追い風であることは間違いございません。

↳

## ここが聞きたい! いっぱん質問

農林課長

**圃場整備補助金を出すなど支援や  
畜産農家の健全経営のために  
決め細やかに指導を行っている**

富士豊茂地区につきましては、ここ数年の社会状況により生産コストの上昇に危機感を持っており、酪農家の自給飼料、遊休農地を活用して、牧草・モロコシの生産に努力しております。

また圃場整備補助金を出すなど支援を行っております。山梨県畜産経営指導協議会が畜産農家の健全経営のために決め細やかに指導を行っております。

また、富士ヶ嶺地区で畑地帯総合整備事業を実施して農業基盤を整備することで将来にわたり農業を営んでいける制度を希望するものでございます。

質問

**町民は安心・安全を望んでいる。  
現在の砂防状況は?**

富士河口湖町は四方山に囲まれている村落に多くの住民が生活しておりますが、台風・大雨・地震などいつ起こるか分からず心配が耐えない状況です。

町民の安心・安全を望んでおりますが、現在の砂防状況は?

建設課長

**関係自治体・市町村と連携をとりながら  
災害防止工事を実施**

富士河口湖町は、周囲を急峻な山々に囲まれ、台風時、また気象条件により、いつ災害が起こるかもしれない地形であります。急傾斜地崩壊危険区域につきましては、関係自治体・市町村と連携をとりながら災害防止工事を実施しております。

質問

**町道はデコボコ道や道幅が狭いところが  
多いが整備進捗状況は?**

町道はデコボコ道が多く、道幅の狭いところが多く見られるが整備進捗状況は?

建設課長

**地域住民の合意が必要不可欠**

町道の拡張工事については、現在地域住民の合意が必要不可欠で、その辺がクリアできれば用地取得状況に加えて工事金額、工事内容により、予算措置をして地籍測量、計画設計、工事完成の運びになるものと考えております。大規模工事に関しては、道路網等総合的に判断して事業実施が考えられるものと思われま

す。



質問者

井出 總一 議員

質問

**児童・小児の医療費無料化の  
引き上げについて伺う**

子育て・少子化対策としての児童・小児医療費無料化については?

また、小児慢性特定疾患医療として18歳まで対象となっていて引き続き治療の必要性があると認められた場合は20歳までを含むとあるが町としては附則として対応する考えはあるのか?

町長

**医療費無料化は条例として承認された。  
特別障害者等を含めての範囲は今後の  
課題**

医療費無料化は条例として承認を頂いたわけですが、特別障害者等を含めての範囲は目下検討されていない状況であります。そういう意味合いで、ただいまの提言に関しましては、今後の課題と考えさせていただきたい。

質問

**天上山、大久保、小曲地区の現状を問う**

天上山、大久保、また、小曲地区の現状について伺う。天上山のあじさい植栽は多くの町民に親しまれ、関東にも知られるものとなっている。又、大久保地区と小曲地区の開発については進展はあるか伺いたい。

町長

**天上山展望広場は完了。  
大久保・小曲地区は本年度分の繰越で  
23年3月に完了予定**

この事業はまちづくり交付金事業で行っております。天上山展望広場(石畳)については平成20年度に完成しております。小曲展望広場については、平成22年3月までに工事を発注し完了する予定であります。大久保にぎわい広場については、公園、駐車場整備を行います。小曲展望広場については、防水対策、展望広場工事、トイレの設置工事を行う予定で

います。

質問

**富士豊茂地区の畜産産業について**

合併して3年になり、富士豊茂地区においては地域格差が出ていると思われる。畜産産業は、牛乳の価格下落、飼料の高騰など厳しい状況ですが、畜産産業への補助制度は?

↳

## ここが聞きたい! いっぱん質問

質問

子ども医療費の窓口無料化の対象年齢引き上げとファミリーサポートの利用料半額補助について

近隣の市町村から転居してきた子育て世代から、子ども医療費の窓口無料化が他の市町村より遅れているとの不満の声がある。早急に拡充をお願いしたい。この質問は昨日すでに中学3年生までの医療費の窓口無料化となる条例が全面改定済み。

経済状況の悪化により、ファミリーサポートの利用料金が1時間700円から800円は子育て世代は負担となる。行政で半額を負担していただきたい。

福祉推進課長

ファミリーサポートの利用料は低所得者とひとり親家庭への半額支援を実施

ファミリーサポート困ったときにお守りの的に会員になったものの、よその人に預けるのをちゅうちょしていた方が、口コミで安心して任せられることが広がり現在は利用増。利用料の助成は低所得者とひとり親家庭へ半額援助を実施する。

質問

がん対策の取り組みと女性特有の子宮けいがんと乳がんの受診率アップについて

山梨県ではがん対策推進計画実行の為、アクションプランをまとめた。それを受けての当町の取り組みを聞かせて欲しい。

女性特有の乳がんと子宮けいがんの受診率アップを推進する為、検診無料クーポンが対象者に送付されているが、受診率アップを図る為の施策とすべての女性に受診を求める対応は考えているか。

健康増進課長

町民皆検診呼びかけ事業と、2月の期限までに対象者には受診を促すための案内を送付

総合検診事業として、定期的ながん検診受診を呼びかけている。県がん対策推進計画実行の為、6つの分野別施策と7項目のアクションプランの取り組みを行っている。

女性特有のがん検診無料クーポン券配布は効果があり、昨年より受診率がアップ。2月末までの有効期限までにクーポン未利用者には再度個別通知。その他の女性にも広報・チラシを配布し、受診奨励に取り組む。



質問者

佐藤安子 議員

質問

確実に高齢社会が押し寄せている。介護支援と予防事業について

介護を受けなくても済む元気な高齢者をいかに増やしていくかが重要です。介護度が増すと在宅介護は厳しくなり、住み慣れた町で老後をむかえたい、家族も近くで介護したいと思っている。町内には特別養護老人ホームが無い為、早急に町内設置を望む声がある。介護支援と予防介護について聞きたい。

保険課長  
健康増進課長

地域密着型特別養護老人施設を検討している。元気はつらつ教室と健康づくり事業を行っている

国から介護拠点を整備する交付事業が打ち出され、当町として県に二次協議を提出し、県からの交付決定を受けて介護事業者を募集し、施設整備を進める。

特定高齢者を対象にした高齢者体力づくりセンターで元気はつらつ教室と、高齢者の健康づくり事業を7地区7会場で開催。参加者の評価を行った結果、運動機能が向上・改善されている。

質問

「ふじサンサンプラン」の進捗状況と女性登用についての町長の考えは

男女共同参画社会実現の為、平成19年度に「ふじサンサンプラン」が策定されて3年目に入っている。推進体制として模範にならなくてはならない庁内推進会議の進捗状況と委員会・審議会への女性登用状況と町長の考えを聞かせて下さい。

町長

役場の中に男女共同参画庁内推進会議を正式に設置する。又、委員会・審議会に女性に参画していただく

男女共同参画庁内推進会議の取り組みが遅れていた。役場の中に庁内推進会議を正式に設置して、職場環境づくりなどの7項目の取り組みを考えている。又、委員会・審議会に適材適所で積極的に女性に参画していただく。

## ここが聞きたい! いっぱん質問

追求を国家目標とすることを米大統領として初めて表明するなど、最近の問題点も目立ってきているが、核兵器廃絶をめざし積極的な姿勢をとっている。

富士河口湖町では平成18年に、「非核平和都市宣言」が議会で議決されている。今後さらに地方に核兵器廃絶の世論を広げる先頭に立つことを求めるものだが、どう考えるか。また、庁舎入口への「非核平和都市宣言」の看板設置を求める。

**町長** 関係者と検討していく

唯一の被爆国として、町民と一体になって核のない世界を追い求めていく。

看板設置については、景観条例の考え方に反しないよう、関係者と検討していく。

**質問** 小中学校の統廃合は、住民の意思で結論を出すべき。さまざまな意見があるが、どのような姿勢で取り組むか

町立小中学校の「適正規模化」を検討する小中学校適正配置審議会の答申が、平成21年3月に出された。この中身は、平成23年度から28年度の間、9つある小学校を6つに、4つある町立中学校を3つに統廃合するというものです。

教育委員会も町も、この答申に沿って、統廃合をすすめるとし、その最初に平成23年度に、富士豊茂小と精進小を統廃合する計画となっている。

答申にも「学校現場や地域が混乱しないように配慮を」などとあり、時間をかけて議論して住民の意思で結論を出すべきと思うが、どう考えるか。

また、「子どもをある程度大きな規模の学校に行かせる」「学校がなくなれば過疎化が加速する」など、統廃合にはさまざまな意見がある。どういう姿勢でこの問題に取り組むか。

**教育長** 住民の意見を参考に、慎重を期して統廃合を進める。年初には住民説明会を始める

審議会の方針にそって、平成23年度から28年度をめどに、統廃合を実施していく。学校、保護者、地域の意見を参考に、慎重を期して、進めていく。

年初には、富士豊茂小、精進小の統廃合について、保護者説明会を始めていく。

**町長** 教育環境をよくするために、統廃合をすすめる。住民との対話をベースに取り組む

児童生徒数が減少しているなかで、児童生徒の教育にとってより良い教育環境づくりをすすめるために、小中学校の適正配置・適正規模について検討を重ねてきた。その結果、統廃合を進めていくことになった。

しかし、学校は地域のシンボルでもあり、教職員、保護者、地域住民との対話をベースにして取り組んでいく。



質問者

山下利夫 議員

**質問** 中学校3年生までの医療費無料化の実現をうれしく思う

14日の本会議で、中学校3年生まで医療費の助成を引き上げる条例案が全会一致で可決したことをうれしく思いますし、喜ばれる住民のみなさんも多いと思います。

日本共産党は、この間、医療費助成の対象年齢を中学校3年生まで引き上げることを町にもとめる要望署名に取り組み、郡内12の市町村のうち、上野原市など6つの市村で、中学校3年生までの無料化を実施または予定していることを訴え、わが町でも実施すべきだと申し入れもしてきた。

この取り組みのなかで「子どもが喘息で常に薬が必要。医療負担を少しでも軽くしてほしい」などの声をお聞きしてきた。何よりもこうした町民のみなさんの切実な声、願いが町政を動かしたのだと思う。

今後さらなる子育て支援の充実を求める。

答弁なし

**質問** 特別養護老人ホーム入所待ち138人。どう解消するか。介護保険料の値上げしなくても良いように国に求めるべき

在宅介護が困難で、施設に入所するしかない状況でも入れる施設がない、申し込んでも何年も待たなければいけない、ということがわが町でも起こっており、特別養護老人ホームの整備が求められている。

特別養護老人ホームの入所待ちの方は町内に138人。待機者をどのようになくしていくと考えているか。

施設整備の際、介護保険料の値上げをしなくても良いように、国に予算措置を求めていくべきだと思うが、考えは。

**保険課長** 小規模の特養ホーム建設を進める 介護保険料への影響は避けられない

特養ホームの建設は現在の町の計画にはないものだが、国が緊急に施設整備の方針を決めたこともあり、当町でも小規模特養ホームの建設を進めることに決めた。

また、この建設の費用は国から交付される予定だが、施設建設により介護給付費が増えるため、介護保険料への影響は避けられない。

**質問** 「非核平和都市宣言」の看板設置を

2009年4月、オバマ米大統領が、核兵器廃絶の

# 12月定例会 委員会質疑

## 総務常任委員会

委員長 外川 正純

### 補正予算

質問 新しい消防自動車を活用するに当たつての考えは。

管理課長 この多機能型消防車については、山梨県に1台交付され、近隣からも注目される機種であります。機能に対して十分説明を受ける中で習得していただき、配備と活用について役員会等で検討していきたい。

質問 税の延滞金の補正予算2500万円の説明を。  
 税務課長 基本的に本税を中心に徴収してきたが、税の徴収を本来の形に戻すことからの延滞金徴収であり、納税思想の向上にもなります。

## 所管全般

質問 町税の徴収について、滞納整理機構の方針が、差し押さえ第一だということ。厳しいやり方でされているということ。聞いていますが、悪質な場合に限るようにはすべきではないか。

税務課長 県の滞納整理機構に送つても、分納誓約とか納付計画を出されているものに関しては、差し押さえ等はしないで、分納契約を守つてもらうという形をとつていきます。

質問 消防行政について、大石地区と河口地区に、本来なら副団長が各1名ずつ必要ではないか。  
 管理課長 消防団については、現在定員351名で条例に基づき運営している。合併時における消防団の運営についての協議の中で、方向づけがされたということでありま

す。

質問 安心安全を求めて地域住民から船津小学校校庭が薄暗くて、照明設備について、前にも質問したが、その後の進展は。

管理課長 船津地区の小中学校には防災上あるいは防災的に照明設備としてどのようなものが必要かについて、学校や所管する教育委員会とも協議、研究し、今後検討させていきたい。

質問 税収の落ち込みで、本当に財政も厳しい状況の中で、企業誘致の取り組みは。  
 企画課長 攻めることも必要だと思うが、光明がさしてこない。企業さんの進出についてもやはりトーンが下がっている。

質問 この4月1日より情報公開条例が制定されました。何件の請求があったか。  
 総務課長 4月から今日

まで2件の申請がございました。申請が教科書の採択の内容で、会議の議事録を公開請求でした。

質問 現状の契約の執行状況と入札率。落札率はどのくらいか。

管理課長 20年度指名競争入札については全体で96・41%、それから一般競争入札については95・12%、全体を平均しまして96・13%という落札率でした。この落札率が高い為、原則1000万円以上の工事については一般競争入札を実施し、競争性を持った中での落札率の低下を図つていきます。

質問 渡辺町長は静岡と足並みをそろえて入山料を取るべきだということ。新聞に載っていたが、そういうふう理解してよろしいか。

町長 私自身、富士山世界文化遺産とのかわり、世界遺産への取り組みと同時に、そういった

ことを整理して、環境整備をしていくということが一番肝心なところではないかなという考え方を持っております。そういう意図で発言をさせていただきました。

質問 北岸地区にまちづくり交付金事業が今展開されているが、進捗状況は。

企画課長 あと残っているのは北岸と精進、本栖地域でして、観光課の所管になります。もみじ公園の用地の取得、もみじ公園の建設、そこが一番大きい金額です。

## 文教社会常任委員会

委員長 梶原 義美

### 一般会計補正予算

質問 医療費、扶助費、老人ホーム入所助成金の説明を。

福祉推進課長 養護老人ホームに措置入所してい

# 12月定例会 委員会質疑

る方の費用。本人の一部負担金ほか、町で、1人当たり年間280万円ほど支出をしています。

**質問** 西浜小・中の体育館の建設で、今後小・中学校の統廃合を考えると、ここで大きな金額を投資する事の矛盾の説明を。

**学校教育課長** 耐震強度が不足している建物で小・中学生の利用はもとより、地域の人たちの社会体育の施設として使うというのは危険性があり、災害時の退避的な体育館なので、予算計上した。

## 所管全般

**質問** 広域行政において、富士吉田市に大きな焼却場を建設し、市と委託契約をしている。搬入ゴミの負担金を市に払い、もう一方で建設当時の起債償還金も負担金を出している。この2点の負担金の確認ですが。

**環境課長** 富士吉田市環境美化センターの負担金ですが、可燃ごみの処理負担金と焼却場の建物の起債償還金の2つの負担金です。

**質問** ごみの負担金は当りまえだが、償還金の負担金さえも加入市町村が払っている。富士吉田市に入る交付金の中へこの起債償還金の分が入っている。償還負担金を出しているの、市に入ってくる交付税をこの償還の割合によって加入市町村へ戻せという交渉を過去にやってきた経過がある。当時、富士吉田市は、地元への対策費、その他いろいろかかる。現在、経済情勢が低迷している中で、町が多少でも財源の確保を図るという意味から、再度要求すべきではないかと思うが、町長の見解を。

**町長** 経過を精査する中で、主張すべきことは我が町にとってプラスになるということであれば、

まさしく精いっぱい努力すべきだと思って、これから経過等整備させていただき、取り組んでいきたい。



▶太陽光発電見学  
庁舎屋上

のなかを勉強して頂きたい。また、町民には、掲示板により太陽光発電を認識し、導入していただくよう啓蒙を図ってきたい。

**質問** 教育センターがみどりホールと併設されているが場所的にかがなものか。今後、場所の検討をしていただく余地があるか。

**古屋教育長** 教育相談を受ける親あるいは児童・生徒についても、人目につかないような状態で旧役場庁舎は良いと受けとめていた。

**倉沢教育センター長** 今いろいろ部屋を利用し、子供たちのびのびと生活しています。同じような条件で、単独利用であれば場所が変わっても、いいと思います。

**質問** 太陽光発電を庁舎に設置、庁舎入り口に、その状況が掲示されているが、今後どのように活用するのか。又、太陽光発電を町民へどの様な方法で啓蒙を行っていくのか。

**環境課長** 小・中学生に太陽光発電がどういうも

どのようになっているのか。

**健康増進課長** 今年度3月までに、当所計画の目標数値が達成できているのか、それぞれの分野ごとに評価を行い、中間評価を反映した中で、今後、新たな計画を作成し健康のまちづくりを進めていかなければならない。

**質問** 国保会計において最高限度額を払っている世帯の数は。

**保険課長** 世帯数で164世帯です。

**意見** 最高限度額者が164世帯で現在の60万円でいくと9800万円。それだけの負担を高額者がしている。底辺だけを見て上部を見ないというの、これまた一つ、ある面では均衡が保たれていないという状況もあります。今後とも国民健康保険行政の上において頭の中の隅に入れておいていただきたい。

# 12月定例会 委員会質疑

## 産経土木常任委員会

委員長 駒谷 隆利



▶委員会町内視察  
(富士ヶ嶺バイオセンター)

### 補正予算

質問 町内の松くい虫の状況をどのように把握しているか。

農林課長 数年前については、被害の確認はなかった。都留では、面的にかかっている状況で、町は点の状況です。また、年間何回か調査し、駆除している。

## 所管全般

質問 白木里宮線の延伸という形の中で、信号機、小立南の信号機はどのようになるのか。

都市整備課長 交差点協議については、町としては2基の信号機を設置していただきたいということの要望で継続を進めています。しかし、県公安委員会は、移設によっては許可を出す、2基の設置については、許可は出さないといい厳しい状況にある。

質問 根場いやしの里の指定管理制度の考え方は。

観光課長 基本的には地域住民が参画するような管理運営。地区住民を主体とした運営組織というものが当初からいやしの里の創出事業の中にもうたわれています。そんなことの方向性の中で、今、進んでいる状況です。

質問 根場のいやしの里の運営に関して、現在、テナントということでは貸してはいますが、そのテナントの家賃収入は全額入っているのか。

観光課長 現年度分はすべて入っています。滞納については、分納されはじめています。

質問 大久保賑わい交流広場の駐車場への進入路ですが、天上山入り公園のほうからも考えているわけですか。

都市整備課長 旧宮下書店さんを今取り壊しておりますが、そこが進入道路となります。そこから大久保地区へ入る道路を新設することになっております。

質問 勝山地区における上下水道の整備については、建設後、かなり年数がたっており、今後は、その維持管理についても計画的に継続実施していくことが必要になると思うが、その辺のところは。

水道課長 水道管の耐用年数というのは概ね40年ということですので、まだ20年度程度です。漏水等については、継続的に調査しながら整備していきたい。

また、下水道管についても、古い管について清掃等を行い、維持管理に努めていきます。

質問 国内外の誘客に努めるために、観光業者あるいは観光連盟と協力してキャラバン等の計画とインバウンド対策は。

観光課長 2月、9月、年に2回キャラバンを実施し、首都圏を中心に関東一円そして新潟方面、さらには東海、中京、関西というところで十三、四班ぐらいに分かれてキャラバンを実施しているというところがあります。

質問 以前の質問の中で、箱根町との観光交流、連携を図る。その取り組んでいる状況は。

町長 12月10日、観光協会、旅館協同組合とともに箱根町を訪問し、箱根町長、(財)箱根町観光協会と情報交換、観光交流について話し合いお互い連携・協力を図りながら観光交流を進めることを確認し、スタートを切ることもなった。

質問 乳ヶ崎線の改良事業の進捗状況は。

用地係長 地権者が現在56名、用地買収面積が約2900平米、用地購入費全体で1億円を予定しています。12月現在の状況は、契約が13名、金額にして約3400万円になっております。用地交渉を行い、おおむね了解を得ている方が新たに17名、全体でいきますと進捗率としては55%ぐらいの方から了解を得ている状況です。

# 10月・11月臨時議会

## 第6回 臨時議会

平成 21 年 10 月 19 日  
 議員改選後の初議会が招集され、正副議長の選挙、委員会構成が決まり、動産の購入と同意案件 9 件、一部事務組合の選挙、各種審議会委員の推薦が行われ閉会した。

### ◇ 同意案件

全会一致で同意しました。

▼ 勝山財産区管理委員の  
 選任同意  
 勝山 小佐野 快 氏

▼ 船津財産区管理委員の  
 選任同意  
 船津 船津 梶原 秀博 氏  
 船津 中野 貴民 氏

▼ 小立財産区管理委員の  
 選任同意  
 小立 外川 正純 氏

▼ 大石財産区管理委員の  
 選任同意  
 大石 堀内 昭登 氏  
 大石 堀内 長富 氏

▼ 河口財産区管理委員の  
 選任同意  
 河口 山崎 光晴 氏  
 河口 外川 貞治 氏

▼ 西深沢十三恩賜県有保護  
 財産区管理委員の選任同意  
 河口 山崎 光晴 氏  
 河口 外川 貞治 氏

▼ 動産の購入  
 自動体外式除細動器（A E D）及び関連物品の購入し、町内の全保育所、福祉施設、健康増進施設など 24 施設に設置

### ◇ 議案

全会一致で同意

## 第7回 臨時議会

平成 21 年 11 月 2 日  
 臨時会が招集され、契約議決、補正予算 3 件と同意案件 2 件、一部事務組合の選挙が行われ全会一致で原案のとおり可決、閉会した。

### ◇ 補正予算

全会一致で可決

一 一般会計補正予算(第5号)

984万円を増額し、予算総額は115億9121万円。  
 新型インフルエンザワクチン接種補助や船津地区公民館北側学習棟の改修工事の補正

水道事業会計補正予算(第2号)

河口湖駅を湖畔に向かう国道137号線道路拡幅に伴う、水道本管切り直し工事に1500万円の増

下水道事業特別会計

補正予算(第3号)  
 河口Ⅱ期バイパス工事に伴う下水道管渠のマンホール改修工事の補正

### ◇ 同意案件

全会一致で同意しました。

▼ 船津財産区管理委員の  
 選任同意  
 船津 渡辺喜久男 氏  
 船津 井出 總一 氏

▼ 小立財産区管理委員の  
 選任同意  
 小立 渡辺 洋 氏

### ◇ 議案

▶ 河口焼却炉



▼ 河口じん芥処理場ごみ焼却施設解体工事請負契約締結指名競争入札に6社を指名、清水建設株式会社が7700万円で落札。工事概要を環境課長が説明、全会一致で可決



### 雛を愛でる会

『まあ、可愛い。』  
『昔、家にもあった、あった。』

小立がらくた市主催の「雛を愛でる会」は今年で四回目を迎えます。

この会をやるうと思ったのは何年前かの二月、石和の喫茶店に行った時ドアの前に何人かの女の人が待っていたのです。中に入ると出窓、棚、いたる所にガラス、縮緬、土、いろんな物でできた大小のお雛様が数え切れない位、飾られていました。次の年も同じころ行くとやはり女性客であふれていました。女の

はみんなお雛様が好きなんだと思えば、観光客の少ない冬の河口湖にもお雛様のイベントがあればと思いついてみると九州や

も多くのボランティアの人達により暖かく迎えてくれました。

私達の会は大切なお雛様を借りてきて飾り、抹茶を飲んで楽しいひとときを過ごしてもらうだけですが、いつか何ヶ所かの会場を巡りながらお茶をしたり食事したり山形のように雛市を見たりするそんな光景がみられたらと思います。

最後に小立がらくた市に品物を寄付してくれた渡才商店さん、三吉屋さん、そして開催に協力してくれる八丁屋公民館関係八丁屋育成会に感謝します。

小立六七  
小立がらくた市

小林 三枝子

山形、東北と結構あるのです。とらやのお雛様、稲取のつるし雛、塩山の甘草屋敷、大月の星野家、富士吉田のおかみさんの会、どこ



## 議会見聞録

### ～ちょっとだけ進化を感じた議会～

新しい議員になってから初めての定例議会、今までとは少し違ってました。まずひとつは一般質問通告書が傍聴受付で配られていたこと、もうひとつは傍聴人が約30名、その半分が女性だったこと、当日は新人議員の一般質問があったこと、女性議員が誕生したことで傍聴人が多くなったのだろう。理由はともあれ、私一人が傍聴人であった以前の議会を思うと、活気が出てきて良いことだと思う。

新しい議員の下で新しい町議会が始まった。ともかく町民の目線で町民のための議会が開かれるようになってほしい。  
小立 渡辺



▲成人式(さくやホール前にて)

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年の清水寺で発表する「今年の漢字」は、民主党による政権交代に象徴される「新」でした。

当町でも昨年10月に町議会議員の改選があり全議員の半数にあたる9名の「新」議員が誕生し年明けの1月10日さくやホールで行なわれた「成人者のつどい」では当町に314名の全員平成生まれの「新」成人が誕生いたしました。

第25号の議会だより発行にあたり「新」を合言葉に編集委員一同、判り易く読み易いリニューアルした議会だよりを目指し創意工夫をしてみました。本誌に対するご意見、ご感想をお寄せください。

本年が、幸多い1年でありますよう祈願いたします。

議会だより編集委員一同

## 議会を傍聴しましょう!!

次の定例会は3月です。

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ傍聴してください。入口には注意事項が掲示されています。

